

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日					1 コース 4 週間
		Day 1・・・・8・・・・15・・・・22 ・・・・29					
ボルテゾミブ(皮下注)	1.3 mg/m ²	↓		↓		↓	
レブラミド(内服)	10～15mg/body	↓	・	・	・	・	↓ 3 週内服、1 週休み
レナデックス(内服)	20 mg/body	↓		↓		↓	

レジメンオーダー以外に必要な処方

レブラミド 1×朝食後 day1～21 21 日分

レナデックス(4) 5 錠 1×朝食後 day1、8、15、

抗凝固薬 (血栓予防、アスピリンなど)

必要時アシクロビル、フェブリック (下記)

注意事項

レブラミド : RavMate 登録が必須

抗凝固薬の処方及び重複を確認すること

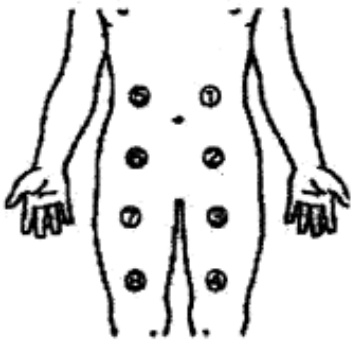
ボルテゾミブ

調製後、8 時間以内に使用すること。

皮下投与の部位 : 左右の腹部等に交互に注射するなど、前回と同じ部位への投与は避けること (皮下脂肪組織の萎縮や硬結をきたして、薬液の吸収が悪くなることもある。また皮膚の炎症などを起こす可能性が高くなる)

帯状疱疹 : アシクロビル予防投与をすることがある (例 : 200-400mg/日)。

腫瘍崩壊症候群 : フェブリックなどを予防投与することがある。



投与方法 : 1、8、15 日目	
1	ボルテゾミブ _____ mg, 皮下注 皮下注の場合 : 1V (3mg) あたり生食 1.2mL で溶解し、適量を使用